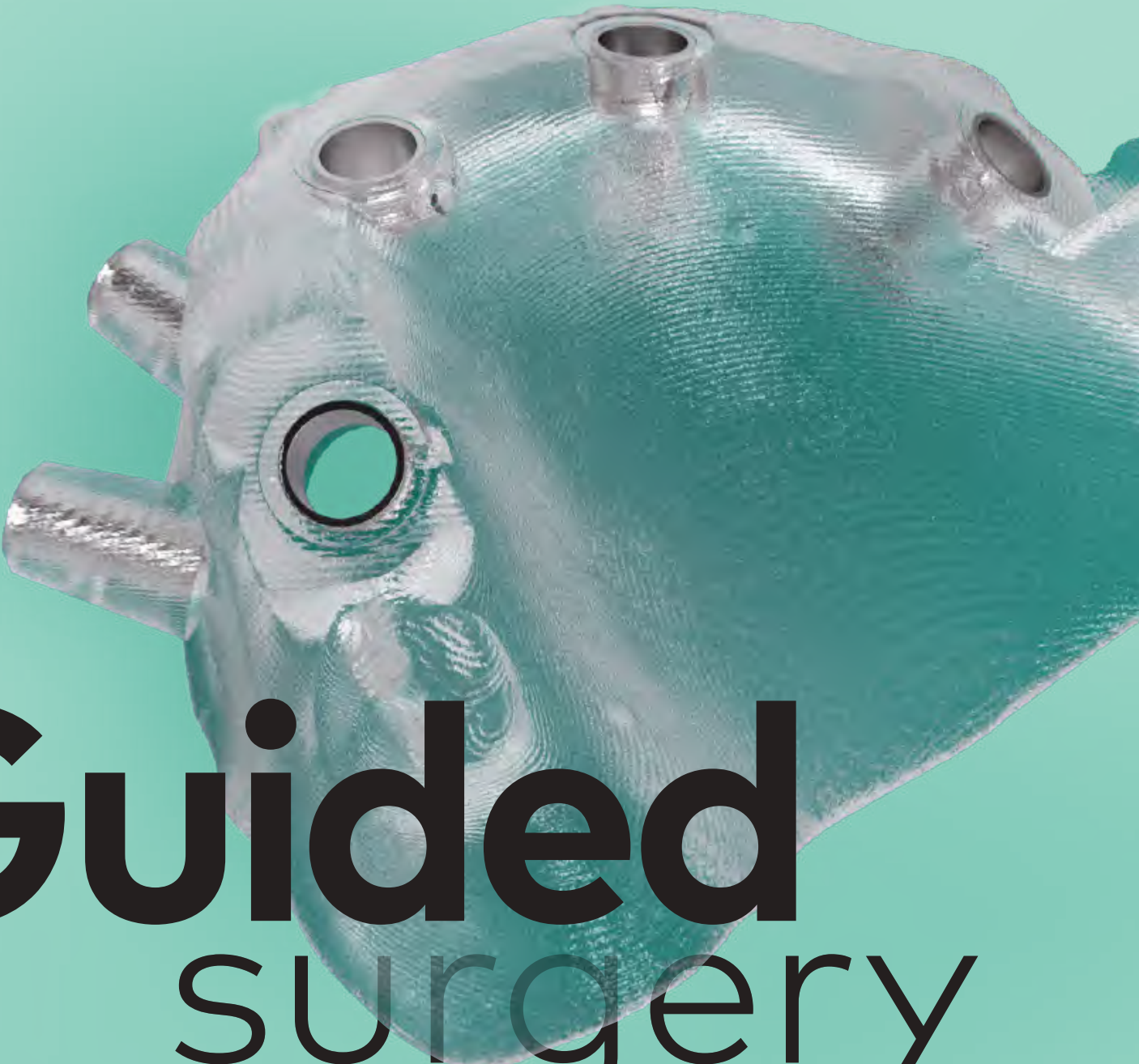


ガイドッド・サージェリー・マニュアル
(改訂：2025年6月)



Guided surgery

ノーベルアクティブ

注：本文中では、読みやすくするために商標／登録商標の™または®を使用していません。ただし、これは弊社が、商標あるいは登録商標に関する自社の権利を放棄したことを意味するものではなく、本書のいかなる記載内容もそのように解釈されるものではありません。

免責事項：製品の種類や在庫の有無については、ノーベルバイオケアまでお問い合わせください。

目次

はじめに	ノーベルガイド・トリートメント・ワークフロー	4
	外科術式 – クイックガイド	6
	術前のチェックリスト	8
	治療の幅を広げる	9
	ドリリングに関する重要な注意事項	10
パイロット・ドリリング+フリーハンド	ガイディッド・パイロット・ドリリングおよびフリーハンド・ドリル手順	12
	必要なインスツルメント	14
	軟組織の管理	15
	ドリル・プロトコル	16
	インプラント埋入	19
	ノーベルアクティブ 3.0 インプラント	23
フルガイディッド	フルガイディッド・サージェリー	24
	必要なインスツルメント	26
	重要事項	27
	軟組織の管理	29
	ガイディッド・ドリリング・プロトコル	32
	ガイディッド・インプラント埋入手順	34
	ガイディッド・インプラント埋入 – 部分欠損	36
	ガイディッド・インプラント埋入 – 無歯顎	38
製品カタログ	ソフトウェア、サージカルテンプレート	40
	インプラント&カバースクリュー	41
	外科用コンポーネント – ガイディッド・パイロット・ドリリング用	42
	外科用コンポーネント – フルガイディッド・サージェリー用	43
	技工用および補綴用コンポーネント	44
	洗浄と滅菌	47

ノーベルガイド・トリートメント・ワークフロー

単独歯/部分欠損症例のワークフロー

部分欠損症例のノーベルガイド・トリートメント・ワークフローでは、欠損部をワックスアップした模型のサーフェススキャン・データと患者の(CB)CTデータをスマートフュージョン・テクノロジーにより、融合させることが可能です。

このワークフローでは、ラジオグラフィックガイドの製作が不要なため、(CB)CTスキャンは診断プロセス中のどの段階でも撮ることができます。DTX Studio Implant ソフトウェアで融合させたデータは、軟組織の形態や厚み等の重要な口腔内情報を可視化し、理想的な最終補綴形態を考慮しながら治療計画をたてることが可能です。

治療計画時に、歯科医はフリーハンド(ノーベルガイドではない)で手術を行うか、ガイディッド・サージェリーを選択します。ガイディッド・サージェリーを選択した場合は、ガイディッド・パイロット・ドリリング用またはフルガイディッド・サージェリー用のサージカルテンプレートを発注します。サージカルテンプレートは、デジタル情報化した模型のサーフェススキャン・データを使用し、ソフトウェア内のシンプルな手順でデザインできるため、ラジオグラフィックガイドのレプリカを製作するなど、複雑な手順は不要です。

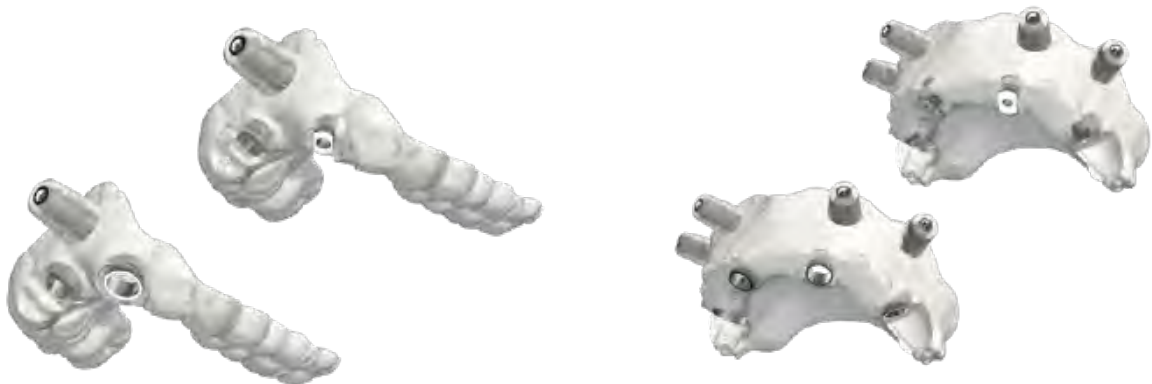
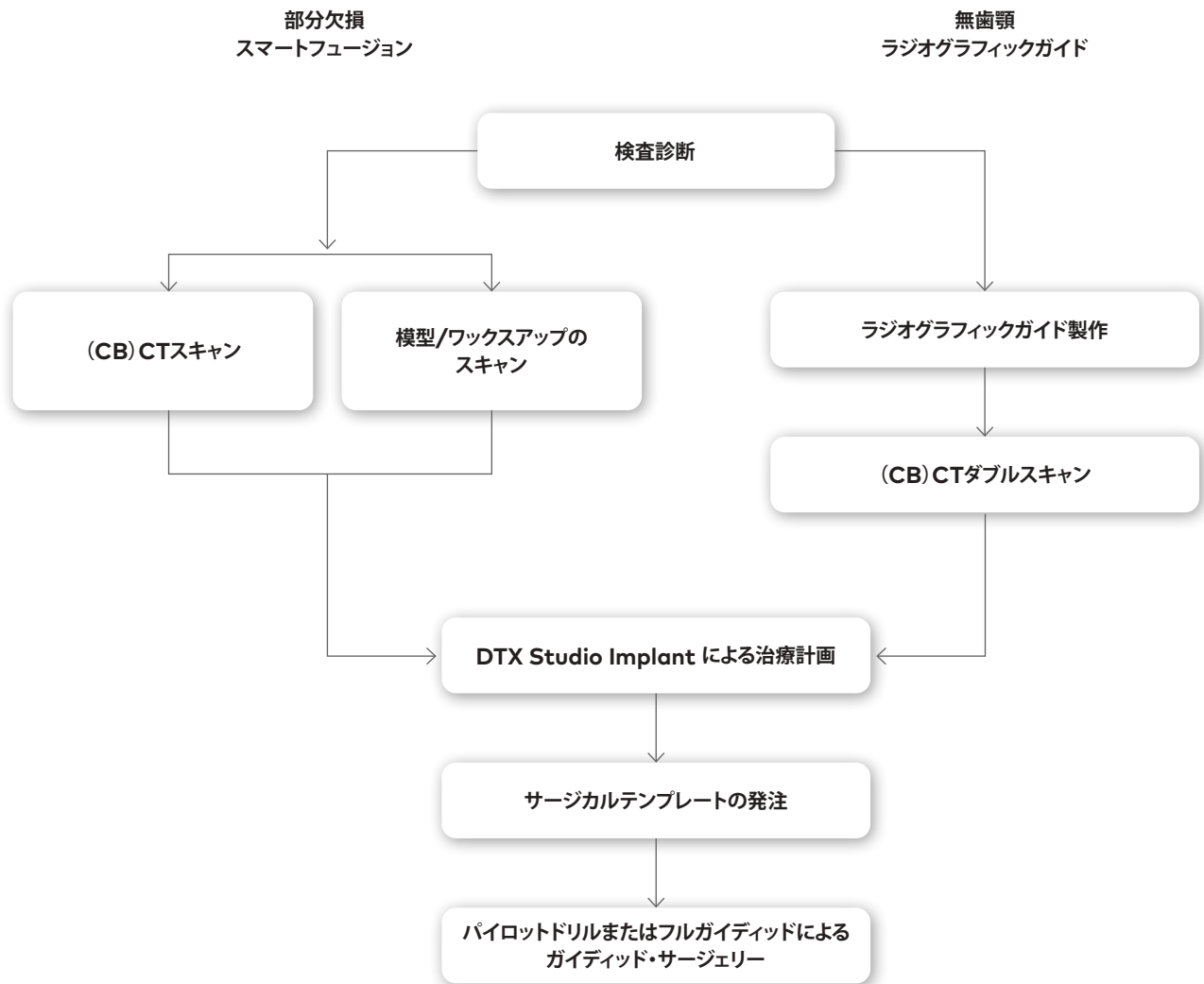
無歯顎症例のワークフロー

無歯顎症例のノーベルガイド・トリートメント・ワークフローでは、(CB)CTダブルスキャン・プロトコルを使用します。患者のスキャンを実行する前に、ラジオグラフィックガイドをラボで製作します。ラジオグラフィックガイドは、アクリル系レジン(PMMA)から新たに製作する診断用セットアップ/ワックスアップの複製を使用します。患者はラジオグラフィックガイドを口腔内の正しい位置で装着した状態で1回目のスキャンを行います。2回目のスキャンは、ラジオグラフィックガイドのみで撮影します。これら2つのスキャンデータをDTX Studio Implant ソフトウェアに取り込み、補綴主導の治療計画を立てます。最終的な治療計画を立てた後、歯科医はフリーハンドで手術を行うか、ガイディッド・サージェリーを選択します。ガイディッド・サージェリーを選択した場合は、ガイディッド・パイロット・ドリル用またはフルガイディッド・サージェリー用のサージカルテンプレートを発注します。サージカルテンプレートのデザインは、ラジオグラフィックガイドの形態に基づいて、DTX Studio Implant ソフトウェア内で自動的に作成されます。そのため、ラジオグラフィックガイドは、最終補綴形態が参照できるように、また、サージカルテンプレートのデザインにも使用できるよう、新たに設計・製作してください。

なお、理想的な(CB)CTの結果を得るために、ノーベルガイド・キャリブレーション・オブジェクトを使用し、予めキャリブレーションを実施します。そうすることにより、スキャンしたラジオグラフィックガイドのデータが自動的に正しく抽出できるようになります。キャリブレーション・ワークフローは部分欠損症例にも適用します。

備考:このマニュアルは、ノーベルアクティブ・インプラントをガイディッド・パイロット・ドリリングまたはフルガイディッド・サージェリーの手順に従って埋入する方法を示しています。サージカルテンプレートの準備およびオーダーについては、ノーベルガイド・コンセプト・マニュアルをご参照ください。

www.nobelbiocare.comからPDFをダウンロードできます。



外科術式 – クイックガイド

下記イラストは、ノーベルアクティブ RP 4.3×13mmのインプラントを埋入する手順を示しています。

ガイディッド・パイロットドリリング
+ フリーハンド



深さの計測
デプスプローブ



または

深さの計測
ツイストドリルφ2.0



ドリリング・ポジションのマーク
(必要に応じて)
ガイディッド・スタートドリル



ガイディッド・ドリリング
ガイディッド・ツイストドリルφ2.0

フルガイディッド



ガイディッド・ドリリング
ガイディッド・ツイストステップ
ドリル 2.4/2.8



ドリリング
ツイストステップドリル
2.4/2.8



ドリリング
ツイストステップドリル
3.2/3.6



インプラント埋入
インプラントドライバー
NAct/CC RP



ガイドッド・ドリリング
ガイドッド・ツイストステップ
ドリル 3.2/3.6



スクリーータップ
(必須)
ガイドッド・タップ RP 4.3



インプラント埋入
ガイドッド・インプラント
マウント・ノーベルアクティブ
RP 4.3

術前のチェックリスト

- ☐ サージカルテンプレートにある治療ID番号が正しいことを確認してください。治療ID番号はDTX Studio Implant ソフトウェアのオーダー・マネジャーに記載の番号になります。
- ☐ サージカルテンプレートのデザインがDTX Studio Implant ソフトウェア上でデザインしたものであることを確認してください。
- ☐ サージカルテンプレートに同梱されている「NobelGuide Surgical Guidelines (ノーベルガイド・サージカル・ガイドライン)」をご確認ください。
- ☐ DTX Studio Implant ソフトウェアから治療計画レポートをプリントしてください。
- ☐ サージカルテンプレートが主模型および患者の口腔内で適合することを確認してください。
- ☐ 調整が必要な場合、バー等で注意深くサージカルテンプレートの調整を行います。
- ☐ 調整が加えられ、強度的に弱い部分がある場合、サージカルテンプレートをレジン材料で補強します。
- ☐ 咬合時にサージカルインデックスがサージカルテンプレートおよび対顎に適合することを確認してください。
- ☐ インプラント、その他必要となるコンポーネント、インスツルメントを準備してください。
- ☐ 必要に応じて、補綴関連のコンポーネントを準備してください。
- ☐ DTX Studio Implantの治療計画レポートに記載の治療プロトコル(インプラント、長さ/直径、ドリル深度)およびノーベルバイオケアのマニュアルに従って手術を進行してください。

治療の幅を広げる

使用方法

ノーベルアクティブ・インプラントは歯科用骨内インプラントです。上顎または下顎に埋入し、患者の審美性または機能性を回復するために補綴装置を固定または支持するために使用します。

ノーベルアクティブ・インプラントは単独歯または複数歯の修復に適応し、連結または非連結して使用します。2回法または1回法の術式を即時負荷、早期負荷、遅延負荷のプロトコルと組み合わせ、十分な初期固定を達成し、適切な咬合負荷を実現します。

ノーベルアクティブ 3.0 インプラントは上顎の側切歯および下顎の中切歯または側切歯の単独歯の修復にのみ適用します。

禁忌

ノーベルアクティブ・インプラントは次の患者への使用は禁忌となります：

- 医学的に口腔外科術式が不適応の患者。
- 骨造成術の検討が必要な、十分な骨量がない患者。
- 機能的に、または結果的にパラファンクションとなる負荷を安全に支持できるインプラントの大きさ、本数、または位置を適用できない患者。
- 市販されている純チタン（グレード4）、チタン合金 Ti-6Al-4V（チタン、アルミニウム、バナジウム）、ステンレス鋼、ダイヤモンド状炭素に対してアレルギーがある、または過敏な患者。

また、ノーベルアクティブ 3.0 インプラントは上顎の中切歯、犬歯、小臼歯、大臼歯、および下顎の犬歯、小臼歯、大臼歯には適用できません。また、複数歯の修復においても適用できません。

骨質および骨量を基本とした注意事項

確立したプロトコルに従い、検査、診断、治療計画とともに治療を実施します。

インプラント埋入部位の骨量および血管、神経、陥凹部などの重要な解剖学的構造を確認してください。X線撮影、プロービング、触診、3D画像など、従来通りの診断ツールで確認してください。

通常、緻密な皮質骨ではインプラントの優れた初期固定が得られます。軟らかい骨質においてインプラントの初期固定を促進するために、ノーベルアクティブのインプラント・ボディはテーパ形状になっています。また、インプラントは先端に向けてスレッドの高さが増しているため、骨を圧縮しながら進み、インプラントの固定に優れています。これらの特徴により、軟らかい骨質においても小さめに形成した部位への埋入が可能であり、海綿骨が大半を占める部位でも優れた固定が期待できます。

インプラント支持のための骨量は部位によって異なります。

前歯部の抜歯窩口蓋側に正しい補綴装置のアライメントを確保し、最大の固定を得ながら埋入することも可能です。

垂直方向の組織の寸法を維持するために、インプラントの頸部の舌側と唇頬側に少なくとも1.5mmの骨があることを確認してください。インプラントの頸部がバックテーパー・デザインのため、骨幅が限られている場合でも、望ましい結果が期待できます。



ドリリングに関する重要な注意事項

ドリル

- ドリルは外科用ステンレス・スチール製で、アモルファス・ダイヤモンド・コーティング等の処理がされているため、黒い色を呈しています。外部注水をしながら使用します。
- 十分に注水し、イン・アンド・アウトの方法で1~2秒間骨をドリリングします。
- ドリリングを開始する前(手術開始前)に、ドリルがサージカルテンプレートのスリーブおよびドリルガイドを抵抗なく通ることを確認します。
- 注水が使用可能な状態であることを確認します。
- サージカルテンプレートのスリーブおよびドリルガイドを通して、ドリリングを開始します。
- ドリルに側方圧をかけないでください。側方圧をかけると、ドリルが破損する恐れがあります。

⌚ 800rpm 以下

注意: ドリルは1回の手術でのみ使用を推奨します。また、加工して使用しないでください。加工したドリルをご使用になると、機械的、化学的および/または生物学的な特性の損失を引き起こす可能性があります。

備考: ガイディッド・ドリルに記載されている(10+)の記号は、通常のドリル(フリーハンド・サージェリー用)より10mm長いことを意味しています。



ガイディッド・パイロット ドリル

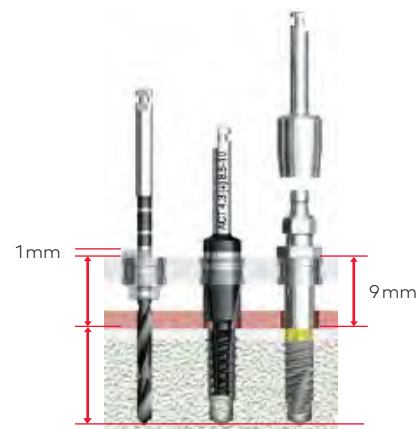
症例によっては、計画したインプラント(インプラント・ショルダー)とパイロット・スリーブ間の距離が標準設定値の10mmでは不十分なことがあります(例:インプラントをやや深めに埋入するケース)。その場合、パイロット・スリーブが骨縁および/または軟組織に干渉します。サージカルテンプレートを製作する際に、パイロット・スリーブの高さをDTX Studio Implant ソフトウェア上で調整し、干渉ないようにデザインします。

備考: ガイディッド・パイロット・ドリルの正しい深さは、DTX Studio Implant ソフトウェアから取り出すプリントした治療計画レポートおよび/または、サージカルテンプレートに同梱される「NobelGuide surgical guidelines」をご確認ください。



フルガイディッド

計画したインプラント(インプラント・ショルダー)とフルガイディッド・スリーブ間の距離の標準設定値は9mmで、ガイディッド・ドリル・ガイドの高さは1mmです。ノーベルガイドで使用する外科用インスツルメントは、この長さ(9+1=10mm)が考慮され設計されています。



ドリルストップ

- ツイストドリル、ツイストステップドリルは、より安全で正確なドリリングを行うため、ドリルストップを装着します。
- ドリルストップを装着する際には、ドリルをガイディッド・ドリルストップ・キットにある、計画したドリリングの深さに対応するホールに入れます。
- 径3.4以上のドリルでは、大きい方のホールをご使用ください。
- ドライバー・ユニグリップを使用して、スクリューを締め付けます。
- ドリルストップが装着されたドリルを使用して、サージカルテンプレートおよびドリルガイドを通してドリリングすることにより、目的の深さまでドリリングできます。



ドリルガイド用ハンドル

ドリルガイドをハンドルに装着するには、右図のように、ドリルガイドに付いているボールをハンドルの先端に挿入します。ハンドルの上部をきつく締めると、ドリルガイドが固定されます。ドリルガイドは、方向を自由に決めて固定できます。他のインスツルメントの使用の妨げにならないように、方向を調整してください。

注意: ドリルガイドの固定は必ず口腔外で行ってください。患者の口腔内に落とすと、誤って飲み込む危険性があります。

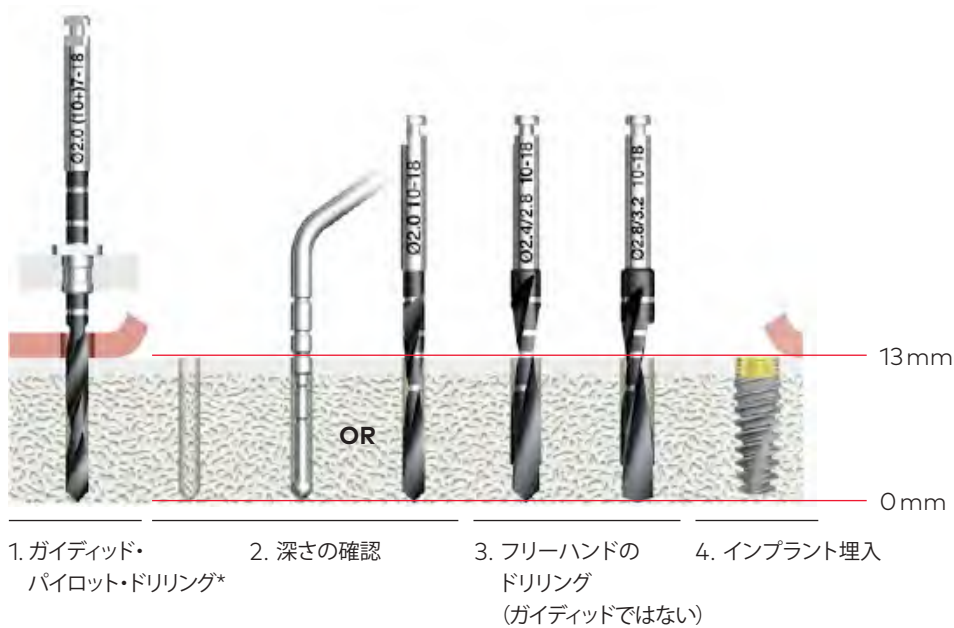


ガイディッド・パイロット・ドリリング+ フリーハンド・ドリル手順

ドリル・プロトコル/深さの参照ライン

下記イラストは、ガイディッド・パイロット・ドリリングに続き、フリーハンドのドリル・プロトコルを用いて、ノーベルアクティブ Ø4.3×13mmのインプラントを埋入する手順を示しています。

軟らかい骨質の場合



中程度の硬さ/緻密な骨質の場合



*ガイディッド・パイロット・ドリルの正しい深さは、DTX Studio Implant ソフトウェアから取り出すプリントした治療計画レポートおよび/または、サージカルテンプレートに同梱される「NobelGuide surgical guidelines」をご確認ください。

骨質*に応じたドリル・プロトコル

下表は、即時負荷を適用する際のインプラントの初期固定を得るための推奨ドリル手順です。

ガイディッド・パイロット・ドリリングの後、サージカルテンプレートを外し、下表に基づき、フリーハンド・ドリル手順を進めます。

プラットフォーム	インプラント径	軟らかい骨質 タイプ IV	中程度の硬さの骨質 タイプ II-III	緻密な骨質 タイプ I
3.0	Ø 3.0	1.5	2.0	2.0 2.4/2.8
NP	Ø 3.5	2.0 (2.4/2.8)	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2)	2.0 2.4/2.8 2.8/3.2
RP	Ø 4.3	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2)
RP	Ø 5.0	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 (4.2/4.6)
WP	Ø 5.5	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/4.6 (4.2/5.0)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/5.0 タップ

備考：単位はすべてミリメートルです。

括弧内のドリルは、皮質骨のみ拡大したい場合に使用し、インプラントの長さに対応する深さまでドリリングは行わないでください。

軟らかい骨質における注意事項

軟らかい骨質では、インプラントのセルフ・ドリリング機能により、従来のインプラントより小さめに形成した部位に挿入できます。

これは解剖学的制限領域において有用です。また、軟らかい骨質においても、骨を圧縮する特徴を活かし、インプラントを埋入できます。骨を圧縮する特徴を活かす場合は、インプラントの全長よりも2~4mm短くドリリングし、まずドリルした深さまでインプラントを埋入してから、インプラントが目的の深さに達するまで埋入します。

緻密な骨質における注意事項

- 緻密な骨質ではセルフ・ドリリング機能を使用しないでください。
- 緻密な骨質で、上表に記載のドリル・プロトコルでは、インプラントが希望の深さに埋入できない場合、過剰なトルク (NP、RP、WPの最大トルクは70Ncm、3.0の最大トルクは45Ncm) がかかるのを防ぐため、タップを使用してください。

**Ulf Lekholm, George A. Zarbによる顎骨の形態および骨質分類
In: Brånemark PI, Zarb GA, Albrektsson T, editors: Tissue-integrated prostheses: Osseointegration in clinical dentistry. Quintessence, Chicago, 1985, pp 199-209.

必要なインスツルメント

1. ガイディッド・パイロット・ドリリング



ガイディッド・ツイストドリル Ø1.5mm (ノーベルアクティブ3.0 インプラントにのみ使用します。)



ガイディッド・ツイストドリル Ø2.0mm



ガイディッド・ツイストドリル Ø1.5mm



ガイディッド・アンカーピン

サージカルテンプレート固定用

2. フリーハンド用の外科用キット



ノーベルアクティブ・ピュアセット (No.87294)

3. ドリルおよびタップ

(P42 の製品カタログをご参照の上、埋入するインプラントおよび骨質に応じて準備します。)



ツイストドリル Ø 2.0 mm
(7-10 mm, 7-15 mm and 7-18 mm)



ツイストステップドリル
(7-10 mm, 7-15 mm and 7-18 mm)



タップ

軟組織の管理



オプション 1

歯肉を剥離した後、サージカルテンプレートを使用してガイドディッド・ドリリングを実行します。

- サージカルテンプレートを注意深く正しい位置に装着します。
- ドリル・プロトコルに記載されている最初に使用するドリルを用いて、歯肉に注意深くマークを付けます。
- サージカルテンプレートを取り外します。
- 歯肉を切開します。
- 骨膜剥離子を用いて骨膜の剥離を行い、歯肉を剥離します。
- サージカルテンプレートを注意深く正しい位置*に再装着します。
- DTX Studio Implantの治療計画レポートに基づき、選択したガイドディッド・パイロット・ドリルを使用して、ガイドディッド・ドリリングを実行します。
- サージカルテンプレートを再び取り外します。
- インプラント埋入部位の形成を続け、インプラントを埋入します。

オプション 2

サージカルテンプレートを使用してガイドディッド・ドリリングを実行した後、歯肉を剥離します。

- サージカルテンプレートを注意深く正しい位置に装着します。
- DTX Studio Implantの治療計画レポートに基づき、選択したガイドディッド・パイロット・ドリルを使用して、ガイドディッド・ドリリングを実行します。
- サージカルテンプレートを取り外します。
- 歯肉を切開します。
- 骨膜剥離子を用いて骨膜の剥離を行い、歯肉を剥離します。
- インプラント埋入部位の形成を続け、インプラントを埋入します。

*サージカルテンプレートの再装着を行う際には、歯肉剥離を行う前に装着したポジションと同じ位置に装着するように注意を払います。

ドリル・プロトコル

下記イラストは、ノーベルアクティブ RP 4.3×13mmのインプラントを埋入する手順を示しています。

1 サージカルテンプレートの装着

- サージカルテンプレートを正しい位置に注意深く装着します。
必要に応じて、アンカーピンで固定します。
- 手術中、サージカルテンプレートの位置がずれないように、注意してください。



2 ガイディッド・パイロット・ドリリング

ガイディッド・ツイストドリル $\varnothing 2.0 \times (10+) 7-18$ mm で適切な深さまでドリリングします。ドリリングは、イン・アンド・アウトの方法で十分な注水を行います。

 800rpm 以下

備考: ガイディッド・ドリルの正しい深さは、DTX Studio Implant ソフトウェアから取り出すプリントした治療計画レポートおよび/または、サージカルテンプレートに同梱される「NobelGuide surgical guidelines」をご確認ください。

注意: ガイディッド・ドリルに記載されている (10+) の記号は、通常のドリル (フリーハンド・サージェリー用) より、10mm 長いことを意味しています。



3 サージカルテンプレートを取り外す

サージカルテンプレートを慎重に取り外します。

4 方向指示棒

方向指示棒を使用して、ドリリングした形成窩の方向性が正しいことを確認します。



5 形成窩の深さを確認

– デプスプローブまたはフリーハンド・サージェリー用のツイストドリル Ø2.0 (ガイドド・ドリルではない) を回転していない状態で使用して、形成窩の深さがフリーハンド・ドリル・プロトコルに応じた深さであることを確認します。



回転していない状態でドリルを使用し、深さを計測します。

6 ツイストステップドリルでドリリング

– ツイストステップドリル Ø2.4/2.8mm で埋入窩の形成を続けます。
– 方向指示棒 Ø2.0/2.4 - 2.8mm でドリリングした形成窩の方向性を確認します。
– ツイストステップドリル Ø3.2/3.6mm で埋入窩の形成を続けます。

⌚ 2000 rpm 以下



7 皮質骨の拡大(緻密な骨質の場合)

ツイストステップドリルφ 3.8/4.2mmで皮質骨部位を拡大します。
インプラントの長さに対応する深さまでドリリングは行わないでください。

🌀 2000rpm 以下



8 タップ(緻密な骨質の場合)

- 形成したインプラント埋入窩にタップ RP 4.3を挿入します。
- スレッドが形成窩にはまったら、低速(25rpm)で適切な形成窩の方向へゆっくりと回転させ、力を加えずに必要な深さまで進めます。(タップのスレッド部がすべて骨内に埋まるまで)
- ハンドピースをリバースモードに切り替え、タップを抜きます。この時にタップは引っ張らないでください。

低速 25rpm 🌀 45Ncm以下

備考:タップ WP 5.5 11.5 - 15mmには、ノーベルアクティブ・インプラント WP 15mm用のラインが入っています。WP 5.5 15mmのみ、ラインまでタップします。(一番右図をご参照)



タップ WP 5.5 11.5 - 15mmには、WP インプラント15mm用のラインが入っています。

インプラント埋入

1 パッケージの開封

各インプラントは二重滅菌包装されています。外箱には、該当インプラントのサイズとカラーコードが表示されており、開封せずにインプラントの種類、直径、長さが簡単に識別できます。

- 外装ビニールをはがして、外箱 (a) からブリスターパッケージ (b) を取り出します。
- ブリスターパッケージから滅菌済みプラスチックケース (c) を滅菌領域へ取り出します。
- プラスチックケースからチタン製スリーブ (d) を取り出し、チタン製スリーブのキャップを外します。
- 外箱に同梱されている記録用ラベル (e) 4枚の内、1枚を患者カルテに貼付し、記録 (インプラントのサイズとロット番号) を残します。

* 識別コード付きラベル1枚 (右図一番右) は専用システム上でロット番号やシリアルなどが読み取れるものです。現状は記録用ラベルの内1枚を保管いただければ問題ございません。

備考: TiUnite表面のノーベルアクティブ・インプラントWPにはカバー・スクリューが付属しておりますが、それ以外のTiUnite表面 (3.0/NP/RP) およびTiUltra表面 (3.0/NP/RP/WP) のノーベルアクティブ・インプラントにはカバー・スクリューが付属しておりません。必要に応じて、別途ご購入ください。



2 インプラント埋入用インストルメントの選択

臨床状況および部位に応じて、ノーベルアクティブ・インプラントの埋入には3つの選択肢があります。

マニュアルで埋入:

- a) 外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ
- b) サージカルドライバー (前歯部のみ)

ドリルユニットで埋入:

- c) ドリルユニット+コントラアングル・ハンドピース

備考:

- 前歯部では、サージカルドライバーを使ってインプラントを埋入できます。
- サージカルドライバーは、指の力だけで使用するよう設計されています。手のひら全体で使用する、過剰な埋入トルクがかかる恐れがありますのでご注意ください。
- ノーベルアクティブ3.0は、外科用トルクレンチ・リプレイス、または補綴用トルクレンチと外科用トルクレンチ・アダプター・リプレイスを組み合わせて使用することもできます。(45 Ncmのラインが入っているため) 但し、70 Ncmのラインは入っていないので、NP/RP/WPには、外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブをご使用ください。

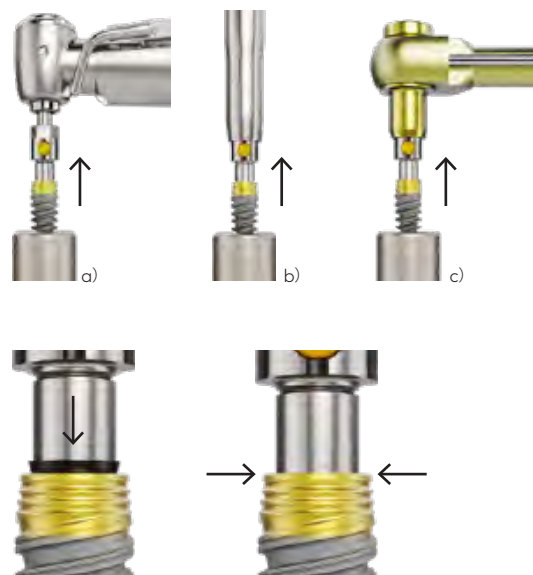


3 インプラントのピックアップ

- 適切なインプラントドライバー・CCを埋入用インスツルメントに接続します。
- インプラントドライバーを使用して、チタン製スリーブからインプラントをピックアップします。ピックアップする際には、インプラントドライバーに軽く力を加え、しっかりとハマるように、チタン製スリーブ内で反時計回りに慎重に回します。

備考:インプラントドライバーには黒いラインがあり、インプラントドライバーを挿入する際、また、インプラント埋入時の方向決めの目安となります。

注意:インプラントドライバーが完全に装着されていることを確認します。



4 インプラントの埋入 (ドリルユニット+コントラアングル・ハンドピース)

- ドリルユニットを 低速 (25 rpm) に設定し、インプラントの埋入を開始します。
- 埋入が完了したら、軽く上にあげて、インプラントからドライバーを外します。

低速 ① 25 rpm

トルク値

3.0:45 Ncm以下

NP/RP/WP:70 Ncm以下



5 インプラントの埋入(マニュアル)

a) 外科用トルクレンチを使用する場合:

インプラントドライバー・CCを外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ (図a) に接続し、希望する深さまでインプラントを埋入します。

b) サージカルドライバーを使用する場合:

インプラントドライバー・CCをサージカルドライバー (図b) に接続し、希望する深さまでインプラントを埋入します。

– 埋入が完了したら、軽く上にあげて、インプラントからドライバーを外します。

備考:

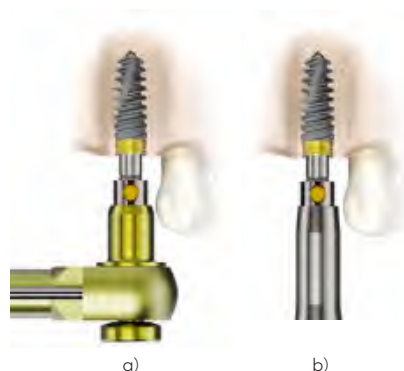
- 埋入時は、ドライバーがインプラントの直線上にあることを確認してください。
- インプラントドライバーが取り外しにくい場合は、上に動かす前に、インプラントドライバーを反時計方向に少し回転します。

注意: インプラントの締め付けトルクはNP/RP/WPが最大70 Ncm、3.0が最大45 Ncmで、外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブで測定できます。インプラントをきつく締め付け過ぎない ようにしてください。締め付け過ぎると、インターナル・コネクションが破損したり、周囲の骨に過剰な圧力が加えられ、オッセオインテグレーションを損なう恐れがあります。

即時負荷の術式を用いるには、インプラントの最終締め付けトルクを35 Ncm以上得る必要があります。

緻密な骨質の場合

緻密な骨へのインプラント埋入およびタップのご使用については、18ページをご覧ください。



外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブには、35 Ncm、45 Ncm、70 Ncmに目盛りがあります。

6 埋入深度の決定

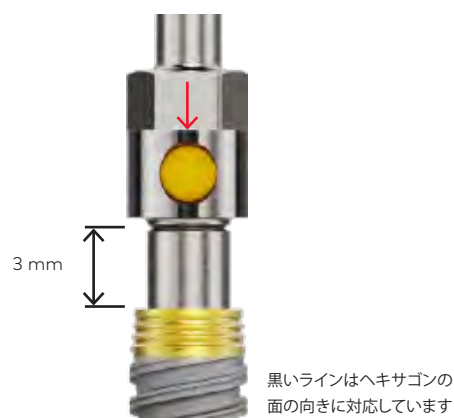
- アバットメント・マージン(形状)や歯肉の厚み、補綴装置のデザインを考慮して適切な深さに計画し、骨縁下に埋入します。



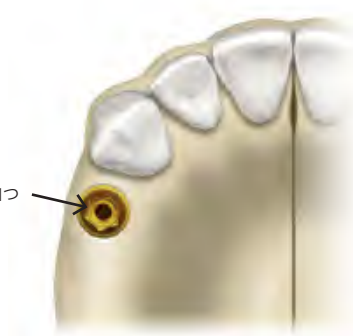
7 プラットフォームの位置づけ

- インプラントを埋入するときは、インプラントドライバーの黒いラインの1つを唇頬側に向けます。(旧タイプのインプラントドライバーの場合は窪みの1つを唇頬側に向けます。)
- こうすることにより、好ましい補綴/アバットメント方向となるように、ヘキサゴンが配置されます。

インプラントドライバー・CCにはフラップレス術式を使用する場合のために、3 mmの高さの目盛りがあります。



ヘキサゴンの面の1つ



ノーベルアクティブ 3.0 インプラント

適用

- 上顎側切歯
- 下顎の中切歯および側切歯
- 上記埋入位置における単独歯の修復

上記の適用部位以外へのインプラント埋入および複数歯の修復は禁忌となります。

1 埋入部位の形成

骨質に応じたドリル・プロトコル(P13)に従って、埋入窩を形成します。

2 インプラントのピックアップ

インプラントのパッケージを開け、内側の滅菌済みチタン製スリーブを滅菌領域に取り出します。チタン製スリーブのキャップを外し、インプラントドライバー・ノーベルアクティブ 3.0を使用して、インプラントをピックアップします。

3 インプラントの埋入

- ドリル・ユニットまたは外科用トルクレンチを使用して、低速(最大15rpm)でインプラントを埋入します。
- 最大トルク45Ncmを超えないように注意し、インプラントを埋入します。即時負荷プロトコルを実施する場合は、インプラントの最終締め付けトルク35Ncmが得られる必要があります。

強い抵抗を感じる場合

インプラントを埋入する際、過剰なトルクがかからないようにしてください。インプラントやインターナル・コネクションの変形、または骨が過度に圧迫される原因となります。

- 埋入時に強い抵抗(3.0は45Ncm近く)を感じた場合は、インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約1/2回転、反時計方向に戻してから、再度インプラントの埋入を続けます。
- それでも強い抵抗が残る場合は、まずインプラントを取り外してチタン製スリーブに戻します。ドリル・プロトコルに沿って、形成窩を広げるか、インプラントの径に合ったタップを使用します。

備考:ノーベルアクティブ 3.0 インプラントの場合は、外科用トルクレンチ・リプレイスまたは補綴用トルクレンチを、外科用トルクレンチ・アダプター・リプレイスと組み合わせて使用することもできます。
(45Ncmのラインが入っているため)

4 テンポラリーレストレーション

外科プロトコルの選択に応じて、カバースクリューまたはアバットメントを装着し、軟組織を縫合します。

注意:ノーベルアクティブ 3.0用のアバットメントスクリューの締め付けトルクは最大15Ncmです。マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを使用して締め付けます。締め付け過ぎるとスクリューが破損する恐れがあります。

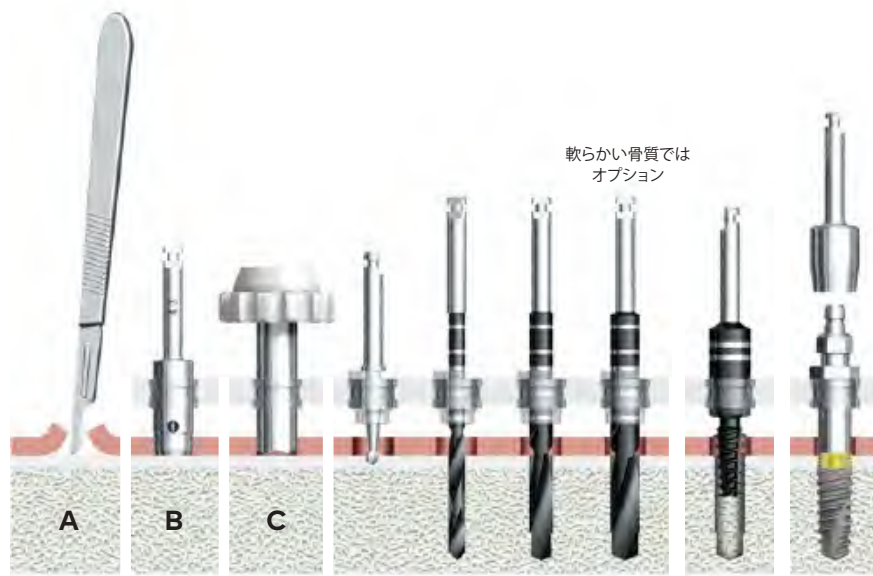


フルガイディッド・サージェリー

ガイディッド・ドリル・プロトコル

下記イラストは、ガイディッド・ドリル・プロトコル により、ノーベルアクティブ RP 4.3×13mmのインプラントを埋入する手順を示しています。

軟らかい骨質/中程度の硬さの骨質の場合



1. 軟組織の管理 (3つのオプション)
2. ガイディッド・ドリリング
3. タップ (必須)
4. インプラント埋入

緻密な骨質の場合



1. 軟組織の管理 (3つのオプション)
2. ガイディッド・ドリリング
3. DBタップ
4. インプラント埋入 (必須)

骨質に応じたドリル・プロトコル

ドリリング中は骨質に注意を払います。推奨ドリル手順は骨質が基準となっており、即時負荷を適用する際にインプラントの最適な初期固定を得るためのものです。ドリルはガイディッド・ドリルガイドの上部を基準にし、インプラントの長さに応じた深さをドリリングします。ドリルのデータはミリメートルで記載されています。

タップの使用は必須

ノーベルアクティブ・インプラントのガイディッド・インプラント埋入では、正しいスタート・ポイントを設定することが重要です。そのため、インプラント埋入位置の精度を上げるために、タップを使用します。すべての骨質で必要で、軟らかい骨質/中程度の硬さの骨質用のタップおよび緻密な骨質用のDB（デンスボーン）タップを症例に応じて選択します。タップはテンプレート・スリーブを通して使用することにより、骨と接触する前にタップがスリーブにはまり、適切な方向でスレッドが形成されるように設計されています。軟らかい骨質では、2～3スレッド（皮質骨の高さ）程度で十分です。

注意:インプラントを埋入する際、トルクはNP/RP/WPが70Ncmを超えないようにしてください。インプラントやインターナル・コネクションの変形、または骨が過度に圧迫される原因となります。

ノーベルアクティブ・インプラント ガイディッド・ドリル・プロトコル

インプラント径	軟らかい骨質 タイプ IV	中程度の硬さの骨質 タイプ II-III	緻密な骨質 タイプ I
Ø 3.5	2.0 (2.4/2.8) (ガイディッド・タップ 3.5)	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2) ガイディッド・タップ 3.5	2.0 2.4/2.8 2.8/3.2 (ガイディッド・DB タップ 3.5)
Ø 4.3	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2) (ガイディッド・タップ 4.3)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 ガイディッド・タップ 4.3	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2) ガイディッド・DB タップ 4.3
Ø 5.0	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (ガイディッド・タップ 5.0)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 ガイディッド・タップ 5.0	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 (4.2/4.6) ガイディッド・DB タップ 5.0
Ø 5.5	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2) (ガイディッド・タップ 5.5)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/4.6 (4.2/5.0) ガイディッド・タップ 5.5	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/5.0 ガイディッド・DB タップ 5.5

備考:単位はすべてミリメートルです。

括弧内のドリルは、皮質骨のみ拡大したい場合に使用し、インプラントの長さに対応する深さまでドリリングは行わないでください。

必要なインスツルメント

1. ノーベルアクティブ・ガイドッド・ピュアセット (No.87305)



2. ガイディッド・ドリルストップ・キット (No.87304)



3. ガイディッド・ドリル & ガイディッド・タップ

(P43の製品カタログをご参照の上、埋入するインプラントおよび骨質に応じて準備します。)



ガイディッド・ツイストドリル Ø2.0mm
(7-13mm、7-18mm)



ガイディッド・ツイストステップドリル
(7-13mm、7-18 mm)



ガイディッド・タップ
(軟らかい骨質/中程度の硬さの骨質で必須)



ガイディッド・デンスボーン・タップ
(緻密な骨質で必須)

重要事項

ノーベルアクティブ・インプラントは、スレッドの独自のピッチ設計により、他インプラントより早く挿入することができます。このため、インプラント埋入完了までの必要な回転数も少なくなりますので、注意してください。また、インプラント埋入時における深度の調整は、形成した部位の底部でインプラントが止まるとは限らず、この手技における安全性が確認されていないため、行わないでください。

必須のガイドッド・スクリュータップ

ノーベルアクティブ・インプラントのガイドッド・サージェリーでは、ガイドッド・タップの使用は必須です。

埋入精度の確保

ノーベルアクティブ・インプラントのガイドッド・インプラント埋入では、正しいスタート・ポイントを設定することが重要です。そのため、インプラント埋入位置の精度を上げるために、タップを使用します。すべての骨質で必要で、軟らかい骨質/中程度の硬さの骨質用のタップおよび緻密な骨質用のDB（デンスボーン）タップを症例に応じて選択します。タップはテンプレート・スリーブを通して使用することにより、骨と接触する前にタップがスリーブにはまり、適切な方向でスレッドが形成されるように設計されています。軟らかい骨質では、2～3スレッド（皮質骨の高さ）程度で十分です。



早い段階での辺縁骨との接触を避けます

インプラント埋入時に辺縁骨との接触を避けます。タップを使用する前に骨縁の形状を確認し、タップの上半分（最大径）と骨が早い段階で接触することを避けなければなりません。接触するとタップがロックされ、部位形成の妨げになります。タップを挿入できるように、あらかじめ骨を除去します。



スクリュータップ後の正確なインプラント埋入

まず初めに、タップ形成したスレッドに、外科用トルクレンチ・アダプターが付いた状態のインプラントを手で反時計回り(左回り)にゆっくりと回して入れていきます。次に、時計回り(右回り)で入れていきます。このようにすることで、スリーブとインプラント間の摩擦なく、正確にインプラントを埋入することができ、精度の高いトルク値を測定することができます。



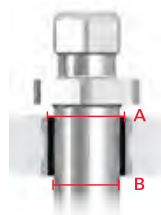
骨を余分に除去することなくインプラントを骨縁下に埋入します

ノーベルアクティブ・インプラントの特質を補完するため、ガイドッド・インプラントマウントの直径はインプラント・ショルダーと同一になっており、隣接する骨縁を余分に除去することなく、骨縁下への埋入が可能となります。ガイドッド・インプラントマウントは垂直ストップが付与されています。埋入中はガイドッド・インプラントマウントがガイドッド・スリーブの中心にあることを目視確認します。



	NP	RP 4.3	RP 5.0	WP 5.5
ガイドッド スリーブ (A)	Ø 4.11	Ø 5.02	Ø 6.22	Ø 6.22
インプラントマウント (B)	Ø 3.52	Ø 3.90	Ø 3.90	Ø 5.08
直径差	0.59	1.12	2.32	1.14

直径および直径差 (mm)



軟組織の管理

ノーベルガイド・コンセプトは歯肉剥離、ミニフラップ、フラップレス術式に対応しています。フラップレス術式では、ガイディッド歯肉パンチを使用します。歯科医は実際の症例に基づき、計画段階で望ましい術式を選択することを推奨します。インプラント埋入予定部位の周囲に角化粘膜があるかなど、計画前には十分な臨床検査が必要です。

備考：

- 組織移植と即時負荷の組み合わせは推奨していません。
- 治療計画に骨造成を含める場合、2回法の術式を推奨します。

フラップレス

フラップレス術式は非常にシンプルな術式です。サージカルテンプレートを取り外すことなく、術式を進めることができます。この術式は、このシステムを使い始めた歯科医に適していますが、歯肉パンチを使用するにあたり、審美性や粘膜についても考慮するなど、適応症例であるかを判断してください。

1 サージカルテンプレートの装着

サージカル・インデックスを使用し、正しい位置にサージカルテンプレートを装着し、アンカーピンで固定します。

⌚ 800rpm 以下



2 軟組織の処置

- サージカルテンプレートを取り外さず、歯肉パンチで歯肉を切除します。
- 歯肉パンチで切除した歯肉を取り除くため、サージカルテンプレートは一旦、取り外すことができます。その後、サージカルテンプレートを注意深く同じ位置に装着し、同じアンカーピン・ホールにアンカーピンを挿入します。



フラップレスではない術式(歯肉剥離、ミニフラップ)

角化歯肉の保存が可能です。また、インプラントを骨縁下に埋入することも(骨造成を同時に行うなど)ミニフラップや歯肉剥離の術式では可能です。

1 サージカルテンプレートの装着

- 軟組織に何らかの処置を行う場合、サージカル・インデックスを使用して位置を確認し、サージカルテンプレートをしっかりと装着します。
- アンカーピンを挿入するため、十分に注水しながら、イン・アンド・アウトの方法でドリリングし、アンカーピンを挿入します。

800rpm 以下



2 インプラント埋入位置のマーキング

- 装着したサージカルテンプレートを通して、インプラント埋入予定位置に歯肉パンチでマーキングします。
- 歯肉パンチを使用して、軟組織へ軽くパンチし、インプラント埋入予定箇所の輪郭を弱い力でマークします。



3 メスで切開する

- アンカーピンとサージカルテンプレートを取り外します。
- インプラント埋入部位を適切に切開します。
(右図はイラストです。切開は症例に応じて行ってください。)



4 歯肉剥離

– 骨膜剥離子を使用して骨膜の剥離を行います。



5 サージカルテンプレートの修正

- サージカルテンプレートが正しい位置に装着できるように、また、剥離した歯肉を傷つけないように、必要に応じて、サージカルテンプレートを修正します。
- サージカルテンプレートのベースを少し修正します。
- 研磨後、滅菌生理食塩水ですすぎ、小さい破片やバリをすべて除去します。

備考：サージカルテンプレートは適切な厚みが残るように注意して修正します。



6 サージカルテンプレートの再装着

サージカル・インデックスを使用して、サージカルテンプレートを元の位置に戻します。

備考：剥離した粘膜を保持するためにアンカーピンを利用するように計画することもできます。サージカルテンプレートのフランジ自体も剥離した粘膜を保持するために利用できます。



ガイドッド・ドリリング・プロトコル

下記イラストは、ノーベルアクティブ RP 4.3×13mmのインプラントを埋入する手順を示しています。

1 ガイディッド・スタートドリルでドリリング

- スタートドリルからインプラント埋入まで、まず1本目のインプラント埋入を完了させます。
- ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø2 mmをサージカルテンプレートのスリーブに配置します。
- ガイディッド・スタートドリルで、ストップするまでドリリングします。(スタートドリルはドリルストップが付与されています。)

⌚ 800rpm 以下



2 ガイディッド・ツイストドリルでドリリング

- より安全で正確なドリリングを行うため、ガイディッド・ツイストドリル Ø2×(10+) 7-18mm に、ドリルストップ Ø2mmを装着します。
- ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø2mmをサージカルテンプレート・スリーブに配置したままにし、ガイディッド・ツイストドリル Ø2×(10+) 7-18mmでストップするまでドリリングします。ドリリングは十分な注水をしながらいいます。

⌚ 800rpm 以下

備考:

- ツイストドリルの目盛りは7、10、13、15、18mmのインプラントに対応しています。深さの目盛りは、ドリルガイドを装着した状態で測定してください。
- ツイストドリルを使用する際には、イン・アンド・アウトの手法で十分な注水を行います。過熱を避けるには、ドリルの先端をテンプレートから外し、注水で十分に冷却します。
- 表示が示す(10+)は、ドリルの実寸がプラス10mmであることを示しています。
- 手術中、インスツルメントなどの操作により、サージカルテンプレートの位置がずれないように、注意してください。
患者の顎堤頂がナイフエッジ状の顎堤の場合、ドリルの不適切な取扱いにより、横方向へずれたり、インプラント埋入中に上からの過剰な負荷がかかりサージカルテンプレートがずれたり、変形することがあります。



3 ドリリング – 続き –

- ガイディッド・ツイストステップドリル 2.4/2.8 × (10+) 7–18mm に、ドリルストップ Ø2.8mm を装着します。
- ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø2.8mm をサージカルテンプレート・スリーブに配置し、ガイディッド・ツイストステップドリル 2.4/2.8 × (10+) 7–18mm でストップするまでドリリングします。ドリリングは十分な注水をしなが、イン・アンド・アウトの手法で行います。
- 続けて、ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø3.6mm をサージカルテンプレート・スリーブに配置し、同じ手法でガイディッド・ツイストステップドリル 3.2/3.6 × (10+) 7–18mm でストップするまでドリリングします。

800rpm 以下



4 スクリュータップ (必須)

- ガイディッド・タップ・ノーベルアクティブ RP 8.5–10mm をテンプレート・スリーブに直接挿入し、十分な注水を行いながら、低速 (25 rpm) で希望の深さまで部位を形成します。
- 回転をリバースモードに切り替え、タップをゆっくりと逆回転させながら抜き、形成部位を損傷しないようにします。

低速 25rpm トルク 45Ncm 以下

備考: 骨をあまり圧縮する必要がない場合、タップを浅めに使用します。どの程度深くタップを形成するかは、骨質に応じて決定します。軟らかい骨質の場合は、2～3本のスレッド (皮質骨の高さ) 程度のタップで十分です。



ガイディッド・タップ
(軟らかい骨質/中程度の硬さの骨質で必須)



ガイディッド・デンスボーン・タップ
(緻密な骨質で必須)

ガイデッド・インプラント埋入手順

1 パッケージの開封

各インプラントは二重滅菌包装されています。外箱には、該当インプラントのサイズとカラーコードが表示されており、開封せずにインプラントの種類、直径、長さが簡単に識別できます。

- 外装ビニールをはがして、外箱 (a) からプリスターパッケージ (b) を取り出します。
- プリスターパッケージから滅菌済みプラスチックケース (c) を滅菌領域へ取り出します。
- プラスチックケースからチタン製スリーブ (d) を取り出し、チタン製スリーブのキャップを外します。
- 外箱に同梱されている記録用ラベル (e) 4枚の内、1枚を患者カルテに貼付し、記録 (インプラントのサイズとロット番号) を残します。

* 識別コード付きラベル1枚 (右図一番右) は専用システム上でロット番号やシリアルなどが読み取れるものです。現状は記録用ラベルの内1枚を保管いただければ問題ございません。

備考: TiUnite表面のノーベルアクティブ・インプラントWPにはカバー・スクリューが付属しておりますが、それ以外のTiUnite表面 (3.0/NP/RP) およびTiUltra表面 (3.0/NP/RP/WP) のノーベルアクティブ・インプラントにはカバー・スクリューが付属しておりません。必要に応じて、別途ご購入ください。



2 インプラントマウントの連結

- 手用ドライバー・ユニグリップと外科用トルクレンチのアダプターを使用して、ガイデッド・インプラントマウント・ノーベルアクティブをインプラントに連結します。
- インプラントマウントが、インプラント・プラットフォームのショルダー部に完全に装着されていることを確認します。



3 インプラントのピックアップ

外科用トルクレンチ・アダプターが付いた状態で、インプラントを2本の指でつまみます。



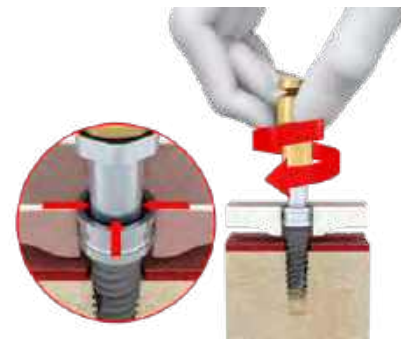
4 手で埋入を開始します

- 始めは手で回して埋入します。インプラントがタップ形成したスレッドに入るのを感じるまで、ゆっくりと左回しします。
- 次にタップ形成したスレッドに右回しします。このようにすることで、タップ形成した正しいスレッドを見つけやすく、インプラント埋入の精度が上がります。

備考:

埋入中は、ガイドッド・インプラントマウントがガイドッド・スリーブの中心にあることを目視確認します。

代替法: マシンを使用した埋入では、タップホルダー・リプレイスをガイドッド・インプラントマウントに接続し、ハンドピースに連結します。
30Ncmから始めます。ノーベルアクティブ・インプラントは素早く埋入できるため、非常に低い回転速度をお奨めします。マシンを使用することで、埋入初期の感触は多少劣ります。開口量あるいはクリアランス（臼歯部領域）によってマニュアルによる埋入が難しい場合にのみマシンを使用します。



ガイドィッド・インプラント埋入 – 部分欠損

(無歯顎症例の場合は、P38をご覧ください。)

5 外科用トルクレンチまたはドリルユニットを使用した埋入

- 外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブを使用して埋入します。
または、外科用トルクレンチ・アダプターを取り外し、ガイドィッド・インプラントマウントにタップホルダー・リプレイスを連結し、ドリルユニットを低速で使用して埋入します。
- インプラントは、ガイドィッド・インプラントマウントのフランジがサージカルテンプレートのスリーブの表面に接するまで埋入します。但し、それ以上は締め付けしないでください。テンプレートの位置がずれたり、骨を損傷する場合があります。
- 最終的なインプラントの埋入調整は手で行うことが可能です。インプラントの最大締め付けトルクはNP/RP/WPが70Ncmです。外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブで計測できます。
- 調整後は、手用ドライバー・ユニグリップを使用して、ガイドィッド・インプラントマウントを取り外します。

低速 25rpm  埋入トルク 70Ncm 以下

**6 サージカルテンプレートの固定**

- ガイドィッド・テンプレート・アバットメント・ノーベルアクティブ RP 4.3を使用します。
- 手用ドライバー・ユニグリップを使用して締め付けます。
- サージカルテンプレートが正しい位置にあることを確認し、次の埋入窩形成を行います。



7 残りのインプラント埋入

- 残りのインプラント埋入窩形成を進めます。
- 前述のプロトコルに従って、残りのインプラントを埋入します。

備考:

- テンプレート・アバットメントは最初に埋入した2本のインプラントに装着します。3本目以降のインプラントは、埋入後、ガイディッド・インプラントマウントを装着した状態にしておきます。
- 埋入するインプラントが2本の場合は、2本目のインプラントにテンプレート・アバットメントを装着する必要はありません。



8 サージカルテンプレートの取り外し

- すべてのインプラント埋入が完了したら、ガイディッド・インプラントマウントおよびテンプレート・アバットメントを取り外します。
- アンカーピンとサージカルテンプレートを取り外します。



ガイディッド・インプラント埋入 – 無歯顎

(部分欠損症例の場合は、P36をご覧ください。)

5 最初のインプラント埋入

- 最初のインプラント (例えば、犬歯部位) を、ガイディッド・インプラントマウントのフランジがサージカルテンプレートのスリーブの少し上 (1mm程度) にくるまで埋入します。
- ガイディッド・インプラントマウントは、そのまま連結しておきます。

低速 25rpm  埋入トルク 70 Ncm 以下

備考: 右図ではドリルユニットを使用していますが、外科用トルクレンチのご使用も可能です。

**6 2本目のインプラント埋入**

- 負荷を均等に分散させるため、反対側中央に2本目のインプラント埋入位置を決めます。
- 1本目と同様に、ガイディッド・インプラントマウントのフランジがサージカルテンプレートのスリーブの少し上 (1mm程度) にくるまで埋入します。

低速 25rpm  埋入トルク 70 Ncm 以下

**7 インプラント埋入の最終調整**

- タップホルダーを取り外し、ガイディッド・インプラントマウントに外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブを装着して、1本目と2本目のインプラントマウントのフランジがサージカルテンプレートのスリーブに軽く接するまで慎重に締め付けます。

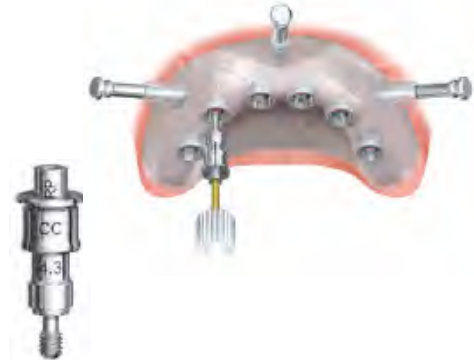
備考: 上記プロトコルに従って、過剰なトルクがかかるのを防ぎ、サージカルテンプレートがずれないように注意してください。

埋入トルク 70 Ncm 以下



8 サージカルテンプレートの固定

- 手用ドライバー・ユニグリップを使用して、ガイディッド・インプラントマウントを取り外します。
- ガイディッド・テンプレート・アバットメント・ノーベルアクティブ RP4.3を両方のインプラントに装着します。
- 手用ドライバー・ユニグリップを使用して、締め付けます。
- サージカルテンプレートが正しい位置にあることを確認し、次の埋入窩形成を行います。



9 残りのインプラント埋入

- 残りのインプラントの埋入窩形成を進めます。
- ガイディッド・インプラントマウントのフランジがサージカルテンプレート・スリーブに軽く接するまで、残りのインプラントを埋入します。

備考:

- ガイディッド・テンプレート・アバットメントは最初に埋入した2本のインプラントに装着します。3本目以降のインプラントは、埋入後、ガイディッド・インプラントマウントを装着した状態にしておきます。



10 サージカルテンプレートの取り外し

- すべてのインプラント埋入が完了したら、手用ドライバー・ユニグリップを使用して、ガイディッド・インプラントマウントおよびガイディッド・テンプレート・アバットメントを取り外します。
- アンカーピンとサージカルテンプレートを取り外します。



製品カタログ

ソフトウェア モジュール



ソフトウェア モジュール

- 106182 **DTX Studio インプラント プラクティスセットアップ**
(1ライセンスに付き、パソコン6台までインストールが可能です。)
- 106192 **DTX Studio インプラント 年間ライセンス料 プラクティスセットアップ**
・初年度のライセンス料はソフトウェアに含まれます。次年度以降、上記費用が発生します。



サージカルテンプレート

(DTX Studio インプラント・ソフトウェアでご注文いただけます。)

ノーベル・サージカルテンプレート(海外製造) (5 歯以上用)

ノーベル・サージカルテンプレート(海外製造) (2-4 歯用)

ノーベル・サージカルテンプレート(海外製造) (単独歯用)

備考：サージカルテンプレート (国内製造) の価格は上記と異なります。
詳細に付きましては、担当営業または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

- 14751 **デュプリケート・デンチャー**



キャリブレーション・キット

- 35949 **ノーベルガイド・キャリブレーション・キット**

インプラント & カバースクリュー

STERILE R ノーベルアクティブ TiUltra インプラント

プラットフォーム	インプラント径	長さ						
		7mm	8.5mm	10mm	11.5mm	13mm	15mm	18mm
3.0 *	3.0mm	–	–	300240	300241	300242	300243	–
NP **	3.5mm	–	300244	300245	300246	300247	300248	300249
RP	4.3mm	–	300250	300251	300252	300253	300254	300255
RP	5.0mm	–	300256	300257	300258	300259	300260	300261
WP	5.5mm	300262	300263	300264	300265	300266	300267	–



STERILE R ノーベルアクティブ TiUnite インプラント

プラットフォーム	インプラント径	長さ						
		7mm	8.5mm	10mm	11.5mm	13mm	15mm	18mm
3.0 *	3.0mm	–	–	36769	36770	36771	36772	–
NP **	3.5mm	–	35221	34125	34126	34127	34128	35215
RP	4.3mm	–	35223	34131	34132	34133	34134	35219
RP	5.0mm	–	35225	34137	34138	34139	34140	35220
WP	5.5mm	37806	37807	37808	37809	37810	37811	–



STERILE R カバースクリュー・コニカル・コネクション

	3.0	NP	RP	WP
	36775	36649	36650	37812



*ノーベルアクティブ3.0は、単独歯の修復にのみ適用でき、上顎の側切歯および下顎の中切歯または側切歯の修復にご使用できません。複数歯の修復には、ご使用できません。

**ナロー・プラットフォーム・インプラントの臼歯部へのご使用は、インプラントに過剰な負荷がかかることが懸念されるため特に注意が必要です。

備考：ノーベルアクティブ TiUnite インプラントWPにのみ、カバースクリューが同梱されています。
その他のノーベルアクティブ・インプラントには、カバースクリューは同梱されていません。

ノーベルバイオケアのインプラント保証プログラムについての詳細は、弊社カスタマーサービスへお問い合わせください。



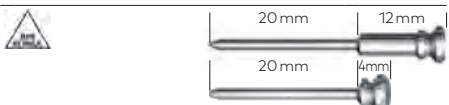
未滅菌品

STERILE R 滅菌品

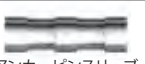
外科用コンポーネント ガイディッド・パイロット・ドリリング用



ガイディッド・パイロット・ドリリング用

ノーベルアクティブ 3.0 用ガイディッド・パイロット ツイストドリル		ガイディッド・ツイストドリル		7-13 mm	7-18 mm
Ø 1.5 (10+) 10-15 mm	37397	Ø 2.0 (10+)	33107	32746	
					
ガイディッド・アンカービン		ガイディッド・ツイストドリル (アンカービン用)			
Ø 1.5 mm	30909	Ø 1.5 mm × 20 mm	33066		
Ø 1.5 mm ショートシャフト	34761				
					

サージカルテンプレート・インハウス製作に必要なスリーブ&ツール

ガイディッド・パイロット・スリーブ&アンカービンスリーブ	
ガイディッド・パイロット・スリーブ 1.5mm	300438
ガイディッド・パイロット・スリーブ 1.5mm 20個入り	300439
ガイディッド・パイロット・スリーブ 2.0mm	300440
ガイディッド・パイロット・スリーブ 2.0mm 20個入り	300441
ガイディッド・パイロット・スリーブ・マウントツールピン 1.5mm	300442
ガイディッド・パイロット・スリーブ・マウントツールピン 2.0mm	300443
ガイディッド・パイロット・スリーブ・マウントベース 1.5mm/2.0mm	300444
Ø 1.5 mm アンカービン・スリーブ 3個入り	30908
   	
アンカービンスリーブ スリーブ ツールピン マウントベース	
パイロット・スリーブ パイロット・スリーブ 20個入り マウントツールピン マウントベース アンカービン・スリーブ	

フリーハンド・サージェリー用

ツイストドリル	7-10 mm	7-15 mm	10-18 mm	ツイストステップドリル	7-10 mm	7-15 mm	10-18 mm
Ø 1.5	-	31278	-	Ø 2.4/2.8	32260	32261	32262
Ø 2.0	32296	32297	32299	Ø 2.8/3.2	37873	34638	34639
				Ø 3.2/3.6	32263	32264	32265
				Ø 3.8/4.2	32275	32276	32277
ドリルエクステンションシャフト ブラッセラ				Ø 4.2/4.6	37874	34582	34583
KI589B.204.				Ø 4.2/5.0	37875	37876	-
							
							
タップ NAct	3.0	NP	RP 4.3	RP 5.0	WP		
	36816	36236	36237	36238	37871*/37872*		
							

* No.37871はノーベルアクティブ WPインプラント 7-10mm用です。
No.37872はノーベルアクティブ WPインプラント 11.5-15mm用です。

インプラントドライバー NAct/CC	3.0	NP	RP	WP
28 mm	36773	36718	36720	37859
37 mm	36774	36719	36721	37860
  				

フリーハンド・サージェリー用



No.87294 ノーベルアクティブ・ピュアセット

ノーベルアクティブ・インプラント・サージェリーに必要なインスツルメントが含まれます。ドリル、タップはセットに含まれておりませんので、別途ご購入願います。

ノーベルアクティブ・ピュアセットの構成品は、コニカル・コネクション・インプラント関連製品カタログまたはノーベルアクティブ・マニュアル&カタログをご覧ください。

外科用コンポーネント フルガイディッド・サージェリー用



ガイディッド・サージェリー用



No.87305

ノーベルアクティブ・ガイディッド・ピュアセット

ノーベルアクティブ・ガイディッド・サージェリーに必要なNPおよびRP 4.3用のインストゥルメントが含まれます。ドリル、タップはキットに含まれておりませんので、別途ご購入願います。



No.87304 ガイディッド・ドリルストップ・キット

ガイディッド・アンカーピン		ガイディッド・ツイストドリル(アンカーピン用)			
Ø 1.5mm	30909	Ø 1.5mm × 20mm		33066	
Ø 1.5mm ショートシャフト	34761	STERILE R			
					
歯肉パンチ		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
	ガイディッド・手用 歯肉パンチ (5個入り)	32Z2006	32Z2007	32Z2008	32Z2008
	ガイディッド・マシン用 歯肉パンチ	37153	37154	37155	38060*
ガイディッド・ドリルガイド		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
	Ø 2mm	32814	32815	32816	32816
	Ø 2.8mm	32817	32818	38046	38046
	Ø 3.2mm	35882	32822	—	—
	Ø 3.6mm	—	35883	35885	35885
	Ø 4.2mm	—	35884	32825	32825
	Ø 4.6mm	—	—	35886	35886
Ø 5.0mm		—	—	—	32826
STERILE R		STERILE R			
ガイディッド・スタートドリル		ガイディッド・ドリルガイド用ハンドル			
Ø 2.0 (10+)	37152	32813			
					
STERILE R		STERILE R			
ガイディッド・ツイストドリル		7-13mm	7-18mm	ドリルエクステンションシャフト ブラッセラ	
Ø 2.0 (10+)	33107	32746	KI589B.204.		
					
STERILE R		STERILE R			
ガイディッド・ツイストステップドリル		7-13mm		7-18mm	
Ø 2.4/2.8 (10+)		35839		35844	
Ø 2.8/3.2 (10+)		35840		35875	
Ø 3.2/3.6 (10+)		35841		35876	
Ø 3.8/4.2 (10+)		35842		35877	
Ø 4.2/4.6 (10+)		35843		38045	
Ø 4.2/5.0 (10+)		37934		37945	
					
STERILE R		STERILE R			
ガイディッド・タップ NAct		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
35878		35879	35880	37946**/37947**	
					
STERILE R		STERILE R			
ノーベルアクティブ専用です。					
ガイディッド・デンスボーン・タップ NAct		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
38179		38180	38181	38182**/38183**	
					
STERILE R		STERILE R			
ノーベルアクティブ専用です。					
ガイディッド・インプラントマウント NAct		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
35887		35888	35889	37948	
					
STERILE R		STERILE R			
ノーベルアクティブ専用です。ノーベルテーパードCCおよびノーベルパラレルCCにはご使用頂けません。					
					
ガイディッド・テンプレートアパットメント・スクリュー付		NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
NAct	35890	35891	35892	37949	
					
ノーベルテーパードCCおよびノーベルパラレルCC用としてもご使用頂けます。 品番・品名は異なりますが、サイズ・デザインは同じです。					

備考：

- * No.38060 ガイディッド歯肉パンチ WPスリーブ (5.5mm用) は、ノーベルアクティブ WP 5.5およびノーベルパラレルCC WP 5.5・インプラント用です。
- No.37155 ガイディッド歯肉パンチ WP/6.0 スリーブ用 (5.0mm用) およびNo.37156 ガイディッド歯肉パンチ WP/6.0 スリーブ用 (6.0mm用) は、ノーベルアクティブ WP 5.5およびノーベルパラレルCC WP 5.5・インプラントにご使用になれませんので、ご注意ください。
- ** No.37946およびNo.38182は、ノーベルアクティブWPインプラント 7 - 8.5mm用です。
- *** No.37947およびNo.38183は、ノーベルアクティブWPインプラント 10 - 15mm用です。

医療機器届出番号: 13B1X10405400001, 13B1X10405400010, 13B1X10405400019, 13B1X10405400023, 13B1X10405400034, 13B1X10405400047

技工用コンポーネント

補綴用テンポラリー・コンポーネント

フルガイディッド・サージェリー用/サージカルテンプレート・インハウス製作用の技工用コンポーネント

	NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
ガイディッド・ピン付シリンダー NAct/CC	37172	37173	37174	37950



主機型製作用技工用コンポーネントです。ノーベルテーパードCCおよびノーベルパラレルCCと共用です。



	NP	RP	WP
インプラントレプリカ NAct/CC	36697	36698	37879



ガイディッド・スリーブ

	NP	RP 4.3	RP 5.0	WP
ガイディッド・スリーブ	32754	32765	32766	32766



備考:オプションで取り付けるアンカーピン・スリーブ (No. 30908) はP.42をご覧ください。



STERILE R ヒーリング・アバットメント

	3.0			NP			RP			WP	
	3mm	5mm	7mm	3mm	5mm	7mm	3mm	5mm	7mm	3mm	5mm
ヒーリング・アバットメント NAct/CC											
Ø 3.2	36794	36795	36796	-	-	-	-	-	-	-	-
Ø 3.6	-	-	-	36639	36640	36667	36643	36644	36872	-	-
Ø 3.8	36797	36798	36799	-	-	-	-	-	-	-	-
Ø 5.0	-	-	-	36641	36642	36868	36645	36646	36873	37813	37814
Ø 6.0	-	-	-	-	-	-	36647	36648	36874	-	-
Ø 6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37815	37816

	NP			RP			WP	
	3mm	5mm	7mm	3mm	5mm	7mm	3mm	5mm
ヒーリング・アバットメント PIB用 NAct/CC								
Ø 4.0	36864	36865	36866	-	-	-	-	-
Ø 5.0	-	-	-	36869	36870	36871	-	-
Ø 6.0	-	-	-	-	-	-	37817	37818



テンポラリー・アバットメント

	3.0		NP		RP		WP	
	1.5mm	3mm	1.5mm	3mm	1.5mm	3mm	1.5mm	3mm
テンポラリー・アバットメント エンゲージング NAct/CC	36779	-	36663	-	36664	-	37823	37824
アバットメントスクリュー付								
テンポラリー・スナップ・アバットメント エンゲージング CC	-	-	38760	38847	38761	38848	38762	38849
1.5mm 3mm アバットメントスクリュー付								
プロテクション アナログ/ ドリルガイド CC 5個パック	36804	-	38855	-	38856	-	38857	-

	NP		RP		WP	
	1.5mm	3mm	1.5mm	3mm	1.5mm	3mm
テンポラリー・アバットメント ノンエンゲージング NAct/CC アバットメントスクリュー付	36661	-	36662	-	37825	37826
アヒカルドリル・テンポラリスナップ・アバットメント/シリンダー用					38853	



専用の製品をお使いいただき、アバットメントへの損傷を防ぎながら、スクリューアクセスホールを簡便にして形成していただけます。



未滅菌品

STERILE R 滅菌品

備考:上記の補綴関連製品は一部のみ掲載しております。その他につきましては、コニカル・コネクション・インプラント関連製品カタログをご覧ください。

医療機器承認番号:22200BZX00844000, 22200BZX00846000, 22400BZX00503000, 22900BZX00191000, 22400BZX00502000

医療機器届出番号:13B1X10405400001, 13B1X10405400006, 13B1X10405400039, 13B1X10405400047

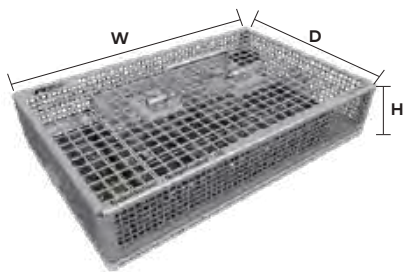
ノーベルアクティブ・ガイディッド・ピュアセット No.87305

(キットには下記の製品が含まれます。単品でのご購入も可能です。)

製品名	製品番号
ノーベルアクティブ・ガイディッド・ピュアセット・トレイ	PUR0600
ガイディッド・アンカーピン Ø1.5 mm (キットには3本入り)	30909
タップホルダー・リブレイス	33065
手用ドライバー ユニグリップ 28 mm	29149
マシン用ドライバー ユニグリップ 20 mm	29151
補綴用トルクレンチアダプター	29167
外科用トルクレンチ ノーベルアクティブ	34584
ガイディッド歯肉パンチ NPスリーブ用	37153
ガイディッド歯肉パンチ RPスリーブ用	37154
ガイディッド・ドリルガイド NP-Ø2 mm	32814
ガイディッド・ドリルガイド NP-Ø2.8 mm	32817
ガイディッド・ドリルガイド NP-Ø3.2 mm	35882
ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø2 mm	32815
ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø2.8 mm	32818
ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø3.2mm	32822
ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø3.6 mm	35883
ガイディッド・ドリルガイド RP-Ø4.2 mm	35884
ガイディッド・インプラントマウント ノーベルアクティブ NP (キットには2本入り)	35887
ガイディッド・インプラントマウント ノーベルアクティブ RP 4.3 (キットには2本入り)	35888
ガイディッド・テンプレート・アパットメント スクリュー付 ノーベルアクティブ NP (キットには2本入り)	35890
ガイディッド・テンプレート・アパットメント スクリュー付 ノーベルアクティブ RP 4.3 (キットには2本入り)	35891
ノーベルアクティブ・ガイディッド・ピュアセット・ウォールチャート	301165



備考：画像はイメージとして掲載しておりますので、実際にはキットに含まれていない製品がセットされている場合がございます。キットの構成品は左記一覧にてご確認ください致します。



サイズの目安

(No.PUR0600) W276.1×D176×H58.9 (mm)

お手持ちの洗浄器・滅菌器をご利用いただく際のご参考にしてください。

ガイドッド・ドリルストップ・キット

- ガイディッド・ドリルストップ・キットボックスは、ガイディッド・ドリルストップの保管、オートクレーブおよびドリルへ装着する際に使用します。
- ガイディッド・ツイストドリル以外に使用しないでください。
- 次の直径のガイディッド・ツイストドリル用のドリル・ストップが入っています：
Ø2、Ø2.8、Ø3、Ø3.2、Ø3.4、Ø3.8、Ø4.2mm

注：ガイディッド・ドリルストップ・キットは、ガイディッド・ドリル用です。通常のドリルストップ・キットとは異なり、10mm深い位置でドリルストップを装着できるようになっています。

ガイディッド・ドリルストップ・キット No.87304

(キットには下記の製品が含まれます。単品でのご購入も可能です。)

製品名	製品番号
ガイディッド・ドリルストップ・キットボックス	33086
ドリルストップ Ø2 mm	33063
ドリルストップ Ø2.8 mm	33064
ドリルストップ Ø3 mm	33075
ドリルストップ Ø3.2 mm	33077
ドリルストップ Ø3.4 mm	33078
ドリルストップ Ø3.8 mm	33080
ドリルストップ Ø4.2 mm	33081

個別にご購入ください。

ドリルストップ Ø3.6mm	33084
----------------	-------



洗浄と滅菌

滅菌済みコンポーネント

滅菌した状態で発送される製品には、ラベルに「滅菌済」(右図)と記載されています。患者の口腔内で未使用のコンポーネントでも、包装を開けたものについては、歯科医院/病院で通常行われている手順に従って、再度洗浄し、オートクレーブ滅菌してください。



注意: インプラントは再滅菌してご利用になれません。

インプラント

インプラントは滅菌した状態でお届けし、1回のご使用に限られます。表示されている使用期限内にご使用ください。パッケージが破損していたり、すでに開封されているインプラントは使用しないでください。



ツイストドリル、ツイストステップドリル、タップ、カウンターボアー

ドリル、タップ、カウンターボアーは滅菌した状態でお届けします。単回の手術でのご使用を推奨します。



アバットメントおよびプラスチック・コーピング

マルチユニット・アバットメント、On1ベース・アバットメントは滅菌した状態でお届けします。再滅菌が必要な場合(未使用または同一患者に使用し、再滅菌が必要な場合)は、135°C (274°F)で5分間オートクレーブ滅菌します。

注意:

- マルチユニット・アバットメント・ストレート、On1ベース・アバットメントを再滅菌する場合は、滅菌手順前にプラスチックホルダーを取り外してください。
- 滅菌済みプラスチック・コーピングは単回でのご使用を推奨します。



未滅菌コンポーネント

再使用可能なインスツルメントのお手入れとメンテナンスは、治療の成功にとって極めて重要です。インスツルメントの十分な維持管理は、患者やスタッフを感染の危険から守るためだけでなく、統合的な治療結果を得るためにも必要不可欠です。



外科用キット

外科用キット：

滅菌する場合、135 °C (274 °F) で5分間高圧蒸気滅菌します。

(注意) キットボックスの耐熱温度: 150 °C

ピュアセット：

高圧蒸気滅菌します。

予備真空がある場合: 温度: 132~134 °C

暴露時間: 4分間以上

予備真空がない場合: 温度: 132~134 °C

暴露時間: 20分間以上

なお、ピュアセットの洗浄・滅菌につきましては、製品に同梱されるピュアセット推奨洗浄方法をご覧ください。

院内で指定され、バリデートされた滅菌条件があればそれに従ってください。



外科用キットボックス



ピュアセット

コントラアングル・ハンドピース

洗浄と滅菌の手順については、各メーカーの手順に従ってください。

アバットメントとプラスチック・コーピング

チタン製、金合金製のアバットメントは未滅菌の状態でお届けします。口腔内で装着する前に、アバットメントを滅菌することが推奨されています。滅菌する場合は、135°C (274°F) で5分間オートクレーブ滅菌します。

注意：

- アバットメントを形成した場合は、滅菌前にアバットメントを洗浄してください。
- 未滅菌のプラスチック・コーピングは1回のご使用を推奨します。

ノーベルバイオケア社製サージカルテンプレート

サージカルテンプレートは未滅菌の状態でお届けします。
それは、術前にプロビジョナルを準備する場合、ラボでインプラントレプリカを含んだ主模型を製作するためにサージカルテンプレートを使用することがあるからです。ラボで使用したテンプレートは、以下の方法で洗浄します。

歯科技工所の場合：

水と中性洗剤を使用して、超音波洗浄器にかけます。水で十分に洗浄した後、すばやく乾燥させ、納品時に入っていた保管用バッグに戻します。

注意：テンプレートは液体（水を含む）に30分以上漬けると変形することがあります。

歯科医院の場合：

手術直前：高度消毒処理（例：フタラル製剤（ディスオーバ®）、過酢酸（アセサイド6%消毒液、アクトリル）、10%ポビドンヨード製剤）をメーカーの指示に従って行います。

滅菌水で十分に洗浄した後、すばやく乾燥させてください。

注意：テンプレートは液体（水を含む）に30分以上漬けると変形することがあります。



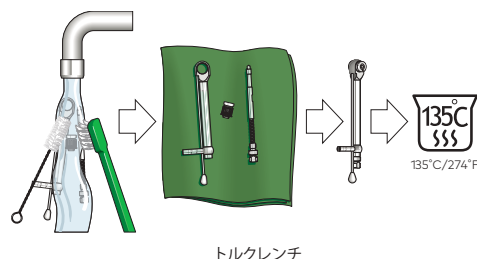
サージカルテンプレートは、熱処理やオートクレーブを使用しないでください。

備考：2024年9月よりサージカルテンプレート（国内製造）のご提供を開始しました。サージカルテンプレート（国内製造）はオートクレーブ滅菌が可能となっております。

インスツルメント、印象用コーピング(金属製)、トルクレンチ

予備洗浄

1. 使用済みのインスツルメントを水(<40°C/104°F)に浸して残存している骨または組織片を取り除きます。次の洗浄ステップに影響する可能性があるため、固化剤や温水(>40°C/104°F)は使用しないでください。次の手順を開始するまで、インスツルメントを濡れた状態にしておいてください。
2. ぬるま湯で調製した0.5%の酵素洗浄溶液(pHレベルが7~10の酵素洗浄剤など)に、インスツルメントを浸します。浸す時間は洗浄剤メーカーの指示に従ってください。洗浄溶液は、市販のものを使用できます。詳しくは製造元にお尋ねください。
3. ナイロン製の軟らかいブラシを使用してインスツルメントの外側と、該当する場合は内側の表面を磨き、目に見えるすべての汚れを落とします。
4. インスツルメントに付いた洗浄溶液を水道水で完全に洗い流します。



自動洗浄、消毒および乾燥

1. 器材ラックにインスツルメントを載せて、洗浄/消毒機の中に入れます。
次に示すサイクルを開始します。
 - a. 冷水で2分間予備洗浄を行い、排水します。
 - b. 研磨剤を含まない外科用機器洗浄剤(酵素、界面活性剤を含む)を使用して、55°C/131°Fで5分間洗浄し、排水します。
 - c. 水道水で3分間中和を行い、排水します。
 - d. 冷水による中間すすぎを2分間行い、排水します。
2. その他、各洗浄機の製造元の説明書に従ってください。洗浄消毒剤は、市販のものを使用できます。
3. 洗浄消毒機の乾燥サイクルによってインスツルメントの表面を乾かします。
4. 必要に応じて、柔らかいタオルで水気を拭き取ることができます。
エアーでインスツルメントの内部に吹き込み水分を飛ばします。



代替法:

研磨剤を含まない外科用機器洗浄剤とともに、超音波洗浄を行います。洗浄時間は洗浄剤メーカーの指示に従ってください。その後、流水下で2分間以上洗浄し、洗浄剤を完全に洗い流してください。柔らかい布等で水分を拭き取り、必要に応じてエアーを使用して水分を飛ばします。水分が付いた状態のまま放置しないでください。

機能試験とメンテナンス

拡大鏡で目視点検して、清浄であることを確認します。

パッケージ

インスツルメントは滅菌バッグに入れてください。

滅菌

各国の条件を考慮し、高圧蒸気滅菌にてインスツルメントを滅菌します。

滅菌条件:

- 予備真空がある場合: 温度: 132 ~ 134 °C
暴露時間: 4分間以上
- 予備真空がない場合: 温度: 132 ~ 134 °C
暴露時間: 20分間以上

(注意) キットボックスの耐熱温度: 150 °C

保管

滅菌済みのインスツルメントは、乾燥してダストのない清潔な環境で保管します。保管温度は5°C~40°C (41°F~104°F)

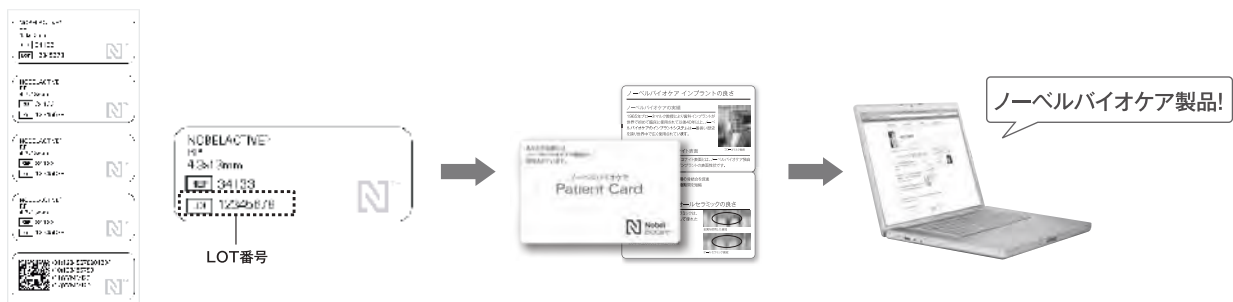
患者様の治療の理解と安心のために

ノーベルバイオケア Patient Card

患者様向けノーベルバイオケア製品専用
治療記録カード



ノーベルバイオケア製品で治療された患者様に
Patient Card(ペイシェントカード:患者カード)をご提供ください。
カードに貼付されているロット番号を患者様がウェブサイトに入力することで、
治療にノーベルバイオケア製品が使用されていることを、
ご自身でご確認いただけます。



認証システムはこちらから



www.nobelbiocare.co.jp/certify/
(PC/Mobile共通)

注意: 本カードは「治療記録カード」であり、ノーベルバイオケアが医療機関や患者様に対して、製品や治療内容等を保証するものではありません。

お客様へのご案内とお願い

■ ご注文に関するお願い

ご注文はお電話にて受付いたしております。

電話番号はフリーダイヤル 0120-147-118

次の通りご準備の上、お電話ください。

1. お客様のお名前と**顧客番号**
2. ご注文商品の**製品番号**と製品名／ご注文個数
3. ご希望納品日

※ご注文はFAXでも受付いたしております。(FAX フリーダイヤル 0120-726-118)

お電話またはFAXによるご注文の受付、発送、お届けについて

当社受付

9:00～17:00

発送

当日出荷

お届け

翌日中（地域によっては翌々日中）

～ 誠に勝手ながら、土曜・日曜・祝日はお休みさせていただいております ～

■ お支払いに関するお願い

お支払いは当月末締め翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。お客様の銀行振込受取書の領収印をもちまして、当社領収書の代わりとさせていただきます。

■ お振込みは下記口座へお願いいたします ■

● 三井住友銀行 本店営業部 当座預金 No. 2140776
口 座 名 ノーベルバイオケアジャパン株式会社

■ オンラインストア

ノーベルバイオケア製品専用のインターネットショップです。
24時間いつでもご注文が可能です。（発送手続きは営業時間内）
どうぞご利用ください。

詳細については、ウェブサイトをご参照ください。
www.nobelbiocare.co.jp



オンラインでご注文

ノーベルバイオケアのオンラインストアから
インプラントおよび関連製品を幅広いラインアップより
24時間いつでもご注文いただけます。
(発送手続きは営業時間内)

store.nobelbiocare.com/jp

お電話またはファックスにてご注文

カスタマーサービスにお電話をいただくか、
またはファックスにてご注文いただけます。

TEL 0120-147-118
FAX 0120-726-118

製品保証プログラム

ノーベルバイオケアでは、製品の保証プログラムを
適用しております。詳細に付きましては、
弊社までお問い合わせください。



nobelbiocare.com

MK300D JP 2506 © Nobel Biocare services AG, 2025. All rights reserved.

ノーベルバイオケア、ノーベルバイオケアのロゴ、および本書で使用されているその他のすべての商標は、別途記載されていない限り、
また文脈から明白である場合を除き、ノーベルバイオケアの商標です。このパンフレット内の製品画像は、必ずしも縮尺どおりではありません。

製造販売元: エンビスタジャパン株式会社

販売元: ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー13F TEL 03-6408-4182

